

# 体験航海に参加してきました。 ～ 護衛艦「きりしま」に乗艦 ～

8月1日（月）横須賀から出港する護衛艦「きりしま」に乗艦し、体験航海に参加してきました。  
今回は5名の方が参加してくれました。



護衛艦「きりしま」に乗艦すると早速、後部甲板で安全に関する説明などがありました。

後部甲板での説明が終わると前部甲板にて①54口径127mm速射砲、②高性能20mm機関砲（CIWS）、更には③VLS（垂直発射装置）と④SPY-1Dレーダーの説明をしてくれました。



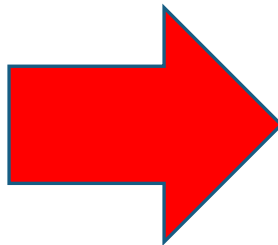


艦橋にある艦長席にて記念撮影

緊急時に着用する救命胴衣の装着方法をしっかり聞いています。



後部甲板では、航海科の乗員がラッパの展示演奏をしていました。「総員起こし」「出入港時のラッパ」「巡検」「行進」を紹介してくれました



甲板上にあったハッチ（扉）を開けてくれました。下は倉庫になっていました。

遅くなりましたが護衛艦「きりしま」の紹介をしたいと思います。



## 護衛艦きりしま



護衛艦「きりしま」は、護衛艦「こんごう」型の2番艦で平成7年に就役しました。護衛艦「きりしま」は第2護衛隊群（佐世保）の第6護衛隊（てるづき、たかなみ、おおなみ）所属となります。母港は横須賀です。

基準排水量：7250t、速力30kt、乗員は約300名

長さ：161m、幅：21.0m、喫水6.2m

艦番号174

洋上防空能力向上のために建造された「イージス艦」で、イージスシステムは、目標の搜索・探知から情報処理、攻撃までを高性能レーダ・コンピューター等により自動処理する対空ミサイル・システムであり

従来のシステムに比べて、レーダー探知能力数百km以上、リアクションタイム2分の1以下、10目標以上同時対処可能最大射程100km以上と飛躍的に能力が向上した。

対空ミサイルとアスロックは前、後部甲板下に設置された垂直発射システムから発射される。弾道ミサイル防衛のため、SM3ミサイル搭載への改修工事が行なわれ、MD機能が付与された。



## 体験航海に参加して・・・

学年主任の先生に薦められて参加しました。イービス艦に乗船してのクルージングは、とても貴重な体験なので参加出来て良かったです。クルージング中は機関室や操縦桿がある場所へ行ったり、船内の小部屋（士官寝室）なども見学しました。船の中は思っていたよりも狭くなく、むしろ広いと感じました。通路や階段が入り組んでいて迷路のようでした。案内が無ければ迷っていたと思います。

艦橋で階級の高い2人しか座ることが許されない赤いシートが敷いてある席に座らせていただくという、とても貴重な体験が出来ました。帽子を被らせてくれて記念撮影もさせて下さりとてもうれしかったです。

以上の経験ができ、本当に良かったと思います。とてもためになりました。又、このような体験ができる時は是非参加したいと思うし参加すべきだと思いました。

このようなイベントを設けてくれた自衛官の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

中村 美紀

護衛艦の体験航海があるということで参加させていただいた船の名前は「イービス護衛艦きりしま」という船でした。イービス艦とは日本に6隻しかなく「イービス」とはギリシャ神話に出てくる無敵の盾に由来してつけられた名前だそうです。自衛官の方に話を聞いたところ、護衛艦は10年周期で進化しているらしく、今回乗船した「きりしま」も現役で20年以上活動していることが分かりました。

近年、日本の海洋事情が深刻化していく中で、世界でもトップクラスの防空能力を持つイービス艦があるということは



体験航海に参加して・・・（続き）

とても大きな力を感じました。

改めて私も日本を守る自衛隊員として働きたいと強く思いました。

鶴田 啓介

今回で群馬地本として6回目の体験航海参加になりましたが参加してくれた方々には大変満足していただけたと思います。今回の護衛艦「きりしま」においては、なかなか乗艦できる機会がないので大変勉強になりました。護衛艦「きりしま」艦長をはじめ乗員の皆さん、たくさんの支援、説明等ありがとうございました。